

或問

第41号

編集後記

『或問』第41号をお届けします。論考が12編収められています。内容的には歴史学、言語学、文芸史となっています。翻訳資料欄に前々号から掲載している張厚泉と李心羽両氏による『西周伝』の(三)は次号に掲載します。

2022年もあっという間に半分が過ぎました。春頃まではオミクロン株による感染状況が厳しく、対面による授業も危惧されましたが、それ以上ひどくなることなく、ほっとしています。入国を阻まれた留学生たちも徐々に日本に入ってこられました。紆余曲折もあるでしょうが、今年後半は、終息に向かっていくことを切に願うばかりです。そうなれば対面による学会や海外学者同士との交流も再開できます。本当に待ち遠しいです。

「日中における言文一致の語彙的基盤に関する研究」というテーマで申請した科研は運良く採択されました。『或問』もしばらく紙媒体で続けます。ありがたく思う次第です。

巻頭の人物写真は、王韜 (1828-1897) と合信 (1816-1873, B. Hobson) です。王韜は清末の知識人で墨海書館や香港で宣教師らと交友関係があり、西洋の新知識を中国に伝えた面で大きな功績を残されました。合信は、イギリス人の伝道医師で、『博物新編』『全体新書』の著者として有名です。いずれも東西文化交流の功労者です。二人は1850年代上海で一時期交流があったはずでしたが、王韜がロンドンに行ったとき、合信はずでに他界されました。

次号は42号になり、2022年11月末を締め切りとさせていただきます。皆様のご寄稿を心待ちにしております。

第41号編集担当：沈国威 (2022.6.30)

執筆者一覧

- 臘 蘭 (佩斯卡拉大学ほか)
張 萍 (浙江外国語学院)
鄭 艷 (天津外国語大学)
李 紅/任 紅磊 (南京農業大学)
潘 瑞芳 (北京外国語大学)
郭 鐘蔚 (香港城市大学)
Gabriele Tola (羅馬大学)
楊 馳 (西南交通大学)
曹 婷 (陝西師範大学)
楊 一鳴 (関西大学・院)
王 海姣 (北京外国語大学・院)
田野村忠温 (大阪大学)

或問 第41号 2022年6月30日発行
WAKUMON No.41 (2022.6)

編集・発行：

近代東西言語文化接触研究会

代表者 内田慶市

E-mail: u_keiichi@mac.com

http://keiuchid.sakura.ne.jp

編集 沈 国威

E-mail: shkky@kansai-u.ac.jp

http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~shkky/

事務局：関西大学 以文館 3階 研究室3

ダイヤルイン 06-6368-3268

564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

ゆうちょ銀行

口座番号：418 8826277

口座名称：近代東西言語文化接触研究会

印刷 遊文舎

頒価 1,500円